

(別紙4(2))

### 目標達成計画

事業所名 グループホームフローラ

作成日: 平成 26 年 12月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在2か月ごとにご本人の様子やご家族の意向を確かめながらケアウランを作り直しているがモニタリングという形で紙面化していない。	利用者やご家族の意向を確認し職員間で情報を共有しながらケアカンファレンスを行ってプランを見直したり、ケア計画が適切であったかどうかの確認の為月1回モニタリングを行いより適切なケアが提供できるようにしていく。	・職員間で情報を共有しながら希望やプランを見なおし、より適切なケアが提供できるようにしていく。 ・月1回モニタリングを行う。	1ヶ月
2	49	外出の機会が少ない。日々の生活の中で外出が習慣になっていない。	外食、花見などの具体的イベントを設けて外出する。3日に一度は散歩を含めて外出する。	そばに庭を作った。テーブルとイスも用意しており、春になればプランターに花を植え、お茶の時間を楽しんでいただける。温かくなれば、日常的に屋外に出て過ごせる場所となる。	4ヶ月
3	6	鍵を開けて外に出ていかれたことがあり、朝のひと時以外は玄関と中扉の鍵を閉めている。それにより入居者は閉じ込められていると感じている。職員が忙しい時間はどうしても目が行き届かない。	閉じ込められていると思われないようにする。職員数の余裕がある時、時間を決めて鍵をかけない。	出かけたいたいといわれた時は安全面を考慮しながらできる限り出て頂き、此処はいつでも外に出られる場所と思って頂く。10時～16時職員が一人になる場合を除き鍵を開ける。	1ヶ月
4	33	重度化や終末期のケアは行っていない。	重度化や終末期の対応について事業所としての方針を打ち出し、ご本人やご家族の意向を確認しながら進めていく。	事業所としての方針を打ち出して文書化した。順次家族に説明して具体的に組み込んでいく。	1ヶ月
5	45	曜日と時間帯を決めて行っていた。	利用者の希望やその時の様子に合わせて柔軟な対応を行っていく。	曜日や時間を決めないで、利用者の希望やその時の様子やタイミングに合わせて柔軟な対応を行っていく。	1ヶ月

1/2